

目 次

はじめに	1
1. 検証メンバー・チーム設置の目的と課題	1
(1) 検証メンバー・チーム設置の目的	1
(2) 検証メンバー・チームの課題	2
2. 検証作業の方法と内容	3
(1) 検証作業の方法と内容	3
1) 関係者ヒアリングによる検証	3
2) 委員会審議音声による検証	5
3) 事故調査関係資料による検証	6
4) 未提出資料による検証	6
5) 運輸安全委員会事務局が作成した資料等による検証	7
6) 運転士アンケートの実施	8
(2) 検証メンバー会合	9
第1部 JR西日本福知山線事故調査に関わる不祥事問題の検証	
I JR西日本による事故調委員等への接触・働きかけ	12
1. 問題の所在	12
2. いつ、どのような接触・働きかけが行われたのか	12
(1) 山崎社長－山口委員ルート	13
1) 接触のきっかけ	13
2) 接触時の状況	13
3) 山崎社長－山口委員ルートに関する他の役員の認識	15
(2) 審議室ルート	16
1) 土屋審議室長－審議室担当者－佐藤委員	16
2) 土屋審議室長－審議室担当者－宮本委員	20
(3) 垣内取締役と楠木委員との接触	20
3. なぜ働きかけが行われたのか	21
(1) なぜ働きかけが行われたのか	21
1) 山崎社長の動機	21
2) 働きかけに関与したJR西日本役員・社員の動機	23
(2) 事故調とJR西日本との事故調査過程における問題点	24
1) 事故調査官とJR西日本側とのやり取りについて	25
2) 意見聴取会に関する情報提供について	25

3)	最終の調査報告書案に関わる原因関係者の意見聴取期間について	25
4)	事故調委員と原因関係者との直接対話について	25
5)	事故調査に対する信頼性について	26
6)	J R 西日本の企業文化の問題点	26
4.	公述人候補者への働きかけ	27
(1)	公述人候補者等への働きかけ	27
1)	働きかけ対象者の選定経緯	27
2)	公述人候補者への働きかけの内容	28
(2)	事故調による公述人の選定経緯	29
(3)	公述人候補者への働きかけ問題の評価	30
II	事故調委員による情報の漏えい	31
1.	接触の事実関係	31
2.	情報漏えいの有無とその内容	31
(1)	山口委員	31
1)	山口委員が提供した情報の内容	31
2)	山口委員が情報提供した動機	32
(2)	佐藤委員	32
1)	佐藤委員による情報提供の内容	32
2)	佐藤委員が技術部マネジャーと接触した理由	33
(3)	宮本委員	34
(4)	楠木委員	34
3.	情報漏えいの有無の検証・評価	35
(1)	情報漏えいの有無の検証・評価	35
(2)	J R 西日本の働きかけを受けた委員の特徴	36
(3)	小括	37
III	J R 西日本による資料の未提出問題と調査報告書への影響	39
1.	資料の未提出問題とは何か	39
(1)	問題の所在	39
(2)	3種類の未提出資料	39
(3)	検証の対象とした2種類の未提出資料	40
2.	未提出資料についての事実関係の整理と背景の考察	41
(1)	平成8年鉄道本部内打合せ資料	41
1)	「コンプラ報告書」の内容	41
2)	ヒアリング結果	42
3)	平成8年鉄道本部内打合せ資料に関わる未提出問題の考察	43

(2) 第118回安全対策委員会資料	44
1) 「コンプラ報告書」の内容	44
2) ヒアリング結果	46
3) 第118回安全対策委員会に関わる未提出問題の考察	46
3. 未提出資料が調査ないし調査報告書に与えた影響についての評価	47
(1) 「コンプラ報告書」の評価	47
(2) 運輸安全委員会の評価	47
(3) ヒアリング結果	48
(4) 未提出資料問題の調査報告書への影響の評価	48
1) 平成8年鉄道本部内打合せ資料	48
2) 第118回安全対策委員会資料	49
3) 小括	49
IV 山崎社長による再考要請が調査報告書に与えた影響	50
1. 山崎社長による山口委員への要請に関わる事実関係の整理と考察	50
(1) 問題の所在	50
(2) 審議音声で確認した発言内容	50
(3) 山口委員のヒアリング結果	51
(4) 審議に参加していた委員のヒアリング結果	52
2. 山口委員の発言が調査報告書に与えた影響についての評価	53
V 運輸安全委員会による「調査結果」の評価	54
1. 情報漏えい問題等に関する運輸安全委員会の「調査結果」	54
2. 「調査結果について」の概要	54
(1) JR西日本からの働きかけに対する事故調委員の行為	54
1) 山口委員	54
2) 佐藤委員	55
3) 宮本委員	56
4) 楠木委員	57
(2) JR西日本からの資料未提出について	57
(3) 運輸安全委員会における対応策について	58
3. 「調査結果について」の評価	59
第2部 事故の再発防止に資する事故調査システムのあり方	
I 第2部の課題と不祥事問題が提起した諸問題	62
1. 第2部の課題と方法	62
2. 事故調および調査報告書に対する不信感の分析	64

II	事故の再発防止に資する事故調査のあり方	66
1.	究明すべき「事故原因」のとらえ方	66
(1)	事故調査の目的（任務）は何か	66
(2)	「事故原因」のとらえ方	66
1)	伝統的な考え方とその問題点	66
2)	事故原因のとらえ方の新しい動向	67
(3)	事故原因のとらえ方に関する検証メンバーの考え方	75
(4)	調査報告書の「原因」のとらえ方の検討	76
1)	調査報告書が明らかにした事実	76
2)	原因の記述内容の問題点	76
3)	原因のとらえ方の問題点	77
4)	原因の狭いとらえ方の背景	78
2.	事故調査の方法論	78
(1)	組織事故の視点による分析	79
1)	組織事故とは何か	79
2)	組織事故の視点からの福知山線事故の分析	79
(2)	ヒューマンファクターの分析	86
(3)	事故を防ぎ得た条件とサバイバル・ファクターの分析	95
1)	事故を防ぎ得た条件の位置づけ	95
2)	事故を防ぎ得た要因としてのA T S - P問題	97
3)	その他の「これがあつたら」についての検討	110
4)	サバイバル・ファクターの問題	111
(4)	組織の安全文化の分析	116
1)	安全文化とは何か	116
2)	事故調査にあたっての安全文化の着眼点	117
3)	組織要因・安全文化に関わる要因の取り上げ方	119
4)	J R 福知山線事故の安全文化の要因	119
3.	被害者の視点の重要性	123
(1)	被害者の新しい社会的位置づけ	123
(2)	アメリカにおける被害者支援の取り組み	125
(3)	我が国における被害者支援についての検討	127
1)	被害者支援の課題	127
2)	運輸安全委員会の関わり方	129
4.	事故調査報告書のあり方と構成	132
(1)	議論した論点の整理	132

(2) 福知山線事故の調査報告書の問題点	134
(3) 運輸安全委員会による事故調査報告書の構成や体裁の改善	135
(4) 今後の事故調査報告書のあり方への提言	136
5. 事故調査と刑事捜査の関係	138
(1) 事故調査と刑事捜査	138
(2) 鑑定嘱託のあり方	138
(3) 組織責任の問い方	139
III 事故調査システムの改革に関する提言	141
1. 運輸安全委員会の現況	141
2. 事故調・運輸安全委員会が実施した改善施策	142
(1) 運輸安全委員会発足時の国会附帯決議	142
(2) 福知山線事故を契機に実施された改善施策	144
(3) 運輸安全委員会が実施した改善施策	144
1) 被害者等への情報提供の充実	144
2) 情報提供の充実	145
3) 再発防止策の実施	145
4) 事故調査の進め方の見直し	146
3. 事故調査システム及び運輸安全委員会の改革に関する提案	146
(1) 事故調査の透明性の確保	146
(2) 被害者への情報提供の充実等	146
(3) 被害者対応の充実	147
(4) 事故調査関係資料の公開の推進	147
(5) 組織問題に踏み込む等事故調査の充実	147
(6) 事故調査と刑事捜査との関係	148
(7) 事故調査の範囲と組織のあり方	148
(8) 委員人事のあり方について	149
(9) 委員の守秘義務違反に対する罰則を設けることについて	149
(10) 予算・人員の確保と研修等の充実	149
(11) 委員会の業務改善体制について	150

別紙資料

- 1-Ⅲ-① 平成8年鉄道本部内打合せ資料
- 1-Ⅲ-② 第118回安全対策委員会資料
- 1-Ⅲ-③ 鉄道局から発出された文書の事故概要別紙
- 1-Ⅳ-① 平成19年6月11日開催の委員懇談会における山口委員の発言内容

- 1-Ⅳ-② 山口委員の発言に関わる平成19年6月11日委員懇談会時の調査報告書案及び最終調査報告書
- 1-Ⅴ-① 運輸安全委員会の委員長及び委員の倫理に関する申し合わせ
- 1-Ⅴ-② 運輸安全委員会の委員等の職務従事の制限に関する申し合わせ
- 2-Ⅱ-① 鉄道事故調査報告書の事実を認定した理由（分析）で記述した事項と原因・建議・所見・参考事項との関係

付録

- 付録-1-1 運転士アンケート質問表
- 付録-1-2 運転士アンケート集計結果
- 付録-2-1 福知山線列車脱線事故に係る鉄道事故調査報告書の概要
- 付録-2-2 J R 西日本 福知山線列車脱線事故 事故調査報告書に関する解説